

# V-① 県教委・大学とコラボする附属学校

## 大学のガバナンスのもと、地域教育機関との連携が進んでいる例

### 2, 県教育センター教職員のオンライン研修に貢献

○附属学校園運営会議にて

<県教育センター長より>

出張の抑制、働き方改革により一堂に会しての研修がとりにくくなった。教職員対象のオンライン研修を開設させたいがセンターには子供がいないので指導主事の模擬授業で作成している。

附属のモデルとなる授業のビデオを提供してほしい。

<附属学校園>

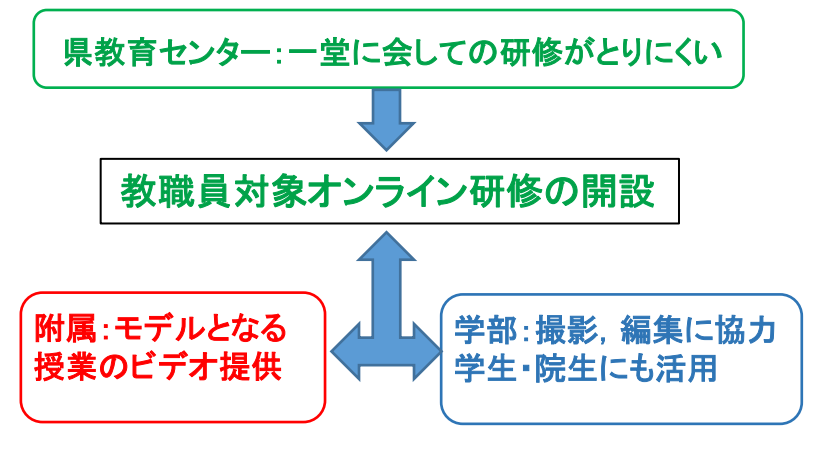
研究授業等のビデオ撮影は簡単だが、ビデオを研修用に編集するのに教員の負担がかかる。

<教育学部長>

教職支援開発センターにビデオ教材作成の部門があるから活用すればよい。

<教育学部教職支援開発センター長>

附属から案内があれば、撮影・編集を行う。大学生や大学院生の授業でも活用させていただきたい。



### 3, 法令研修に新しい「しかけ」でWIN-WIN

○附属学校園運営会議にて

<県教育センター長より>

新しい法令研修(中堅教員研修 I, 7年経験者研修)に附属の場を活用したい。自らの授業実践を附属に持って行きアドバイスをもらいたい。受講者が小中合わせて200名程いるので、両附属学園の全員の力を借りたい。特別支援に関心がある受講者には附属特別支援学校の力を借りたい。

<附属学校園>

公立の若手の先生方の悩みを知り、附属の研究成果や授業技術を伝えることができる。ここでつながりをつくり附属の日常の研究授業・討議や研究会に参加してくれるとありがたい。

<教育学部長>

公立のニーズを知る絶好の機会。公立の先生とつながりを持ち共に授業について考えていく仲間になってくれれば、効果的な研修となる。2地区2附属で進めるとよい。

<県教育センター長>

この研修を機会に、公立の若手教員が附属とつながり、やがて附属の授業や研究にあこがれ、附属で授業がしたくなる教員に育つことを願っている。

